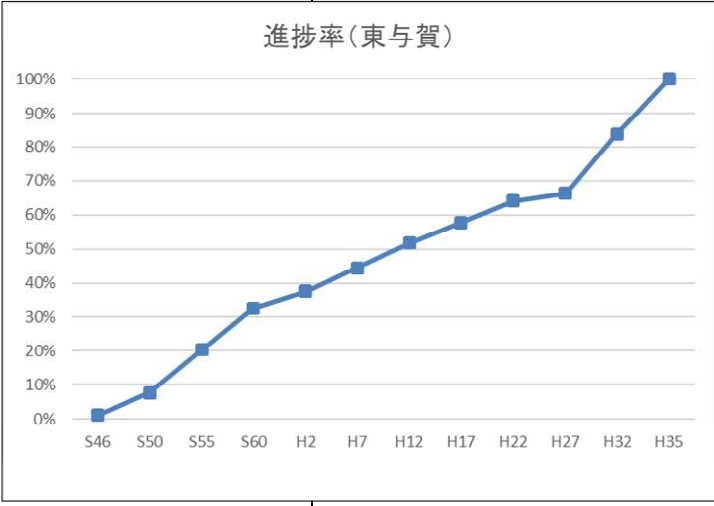


平成30年度再評価対象箇所
(対象：平成25年度再評価実施箇所)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト縮減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)
	再評価時点 H25	海岸保全施設整備事業 東与賀地区 事業主体：県 事業地：佐賀市	海岸堤防等の施設を整備することにより、高潮、津波、波浪、侵食から住民の生命財産を守り、国土の保全と民生の安定を図る。	全体事業費：C=27.6億円 工期：S46～H30 延長：1,760m 主要工事 堤防工L=1,760m 樋門工1箇所	H24末進捗率 77.3% (年平均進捗率 1.8%) 正面堤、側面堤共に計画高まで完成しており、法面部の被覆工事を実施している。	(地域の状況) 背後地の人口、戸数に大きな変化は無く、農地については、ほ場整備事業等が実施され農業生産基盤の強化が図られた。重要な公共施設についても大きな変化は無い。 (過去の災害実績) H18.9 台風13号による越波により、背後農地の農作物に塩害が発生	B / C = 1.37	再生材や建設副産物の有効利用に努める。	再評価実施後5年経過	継続
	現時点 H30	同上	同上	全体事業費：C=32.9億円 工期：S46～H35 延長：同上 主要工事 同上	H29末進捗率 70.1% (年平均進捗率 1.5%) 正面堤、側面堤共に計画高まで完成しており、陸側の耐震対策工事(鋼矢板工)を実施している。	(地域の状況) 変化なし (過去の災害実績) 同上	B / C = 1.72	同上	同上	継続 (理由) 整備対象の堤防は築造から相当の年数が経過しており、老朽化が著しく、また、堤防高が低いことから、本事業により堤防の嵩上げ・補強を実施しているところである。堤防の背後地は、台風や冬期の波浪による高潮、越波の危険にさらされており、高潮等から背後地を守り、地域住民の安全・安心を確保するため、今後も事業を継続していくことが必要である。
	理由等			(全体事業費の増) 堤防の耐震照査の結果、地震時における堤防の安全性を確保することができず、耐震対策が必要となったため。 (工期の延長) 耐震対策の増工に伴い、必要な工事期間を確保する必要が生じたため。	全体事業費の増に伴い進捗率は下がっているが、事業進捗が図られている。 	総便益について、今回は事業完了後からの効果を計上していたが、事業期間中においても事業の進捗に応じて効果が見込まれることから、事業期間中の効果も計上するよう見直したため。				